

# 『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。  
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第84号(2011年8月12日)高速鉄道事故から中国を見る



## 高速鉄道事故

浙江省温州市で7月23日夜に起きた高速鉄道列車の脱線事故の死者は、7月末現在で40人へのぼり、負傷者は192人(内12人が重体)となり、世界中で大きなニュースになっています。

事故後、多くの中国国民が、政府や鉄道局の事故対応、事故後の姿勢などについて非難し、「高速鉄道事故」によって中国における近年の「高速度の経済発展」という目標を見直すべきという声を挙げています。今までは、経済発展の速度が最も重要であるという考え方に対して、反対意見はほとんどありませんでしたが、今回の事故で国民の考えも変化してきているようです。速度ばかりが重視され、多くのことが急ピッチで進められた結果、潜在的なリスクが積み重なり、今回の事故もそのリスクが露呈した1つとの見方が広がっています。

中国共産党設立90周年にあわせて、高速鉄道が開通したため、今回の大事故は中国国内だけではなく、世界中から注目されました。しかし、今回の事故以外にも、海外メディアにあまり報道されていない事故が頻繁に発生しているようです。これらの事故の多くは、発展の速度を重視するあまりに十分な工事が行われていなかったことによるものと考えられています。(下表をご参照)

### 近年中国で発生した主な事故

日付	都市	事故内容
2011年7月21日	黒龍江省ハルビン市	6階建てアパートの壁面の一部が突如崩落する事故
2009年11月13日	中国北部	大雪の影響で、学校の校舎や食堂が倒壊し多くの死者、負傷者を出す事故
2009年8月4日	河北省石家庄市	建設中の工場の倒壊事故
2009年7月23日	河北省石家庄市	高さ187メートルと予定するテレビ塔が建設中の高さ50メートル地点で折れ、真っ二つとなる事故
2009年6月27日	上海市	建設中の13階建てマンションが突然倒壊する事故
2009年5月17日	湖南省株州市	高架道路の倒壊事故

出所:各報道資料などによりスパークス・アセット・マネジメント作成



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『 ぱんだより 』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



## まだまだ伸びる中国の鉄道事業

中国のインフラ整備は、ここ数年急速に成長しています。リーマンショック後、政府が景気対策として4兆元の公共投資の実施を決めるなど、国の総力を挙げて、延ばしていきたい分野とも言えます。

2010年末の中国の鉄道総距離は、約8.5万kmですが、中国の鉄道局の発表によると、2020年末の総距離は約12万kmとなる模様です。その内、旅客専用鉄道の長さは、2010年末の0.5万kmから2020年末には1.6万kmと3倍以上の敷設を目標としています。

右のグラフで分かるように、北京のような大都市でも、鉄道で移動する人が増えています。さらに、成都のような内陸部の都市の住民の沿岸部への移動も増えています。中国の鉄道事業は、経済発展の中で重要な役割を担っているといえます。

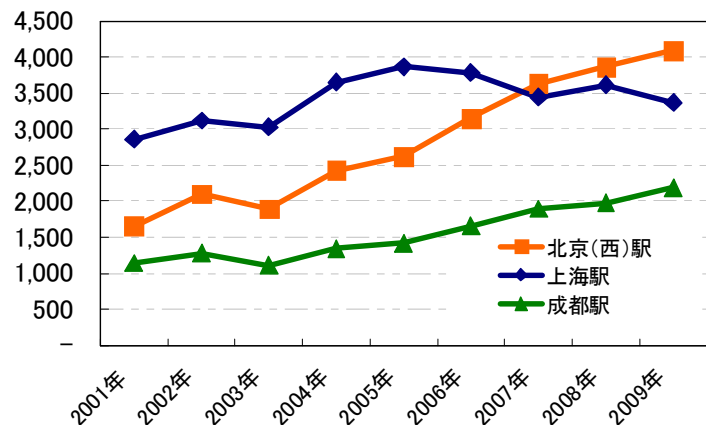
## 速さだけでは一流とは言えない

右のグラフのように、中国の列車は、海外技術の導入や自国開発の努力により、徐々に速度は上がっています。しかし、中国は今回の高速鉄道の事故の教訓として、本当の一流を目指すには、質や安全性を重視したモノづくりを追求しなければならないことを痛感したはずで

この教訓を忘れずに、次の成長ステップに向かうことが今の中国の最優先課題になるのではないのでしょうか。

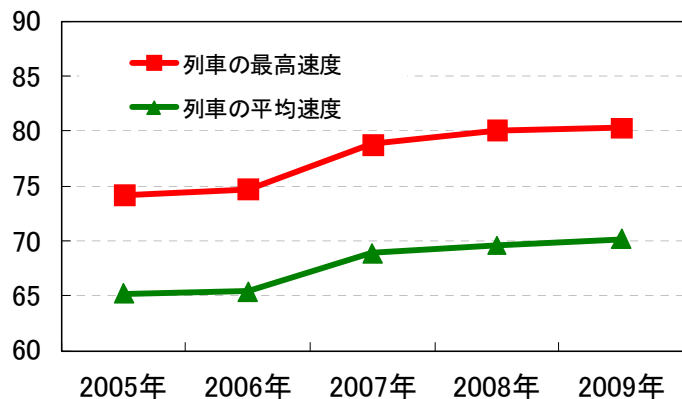
主要駅年間旅客数

単位: 万人



単位: km/H

中国列車の最高速度と平均速度



出所:「中国統計年鑑2010」によりスパークス・アセット・マネジメント作成

(編集後記) 今回の高速鉄道の事故をきっかけに、中国の鉄道建設の諸問題が浮き彫りとなりました。しかし、鉄道建設自体を止めるべきではないと考えております。中国の一人当たりの線路の長さは、日本の約1割の6cmです。1本のタバコより短い長さです。中国鉄道建設の道のりはまだまだ先が長いといえます。

(告られタイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。